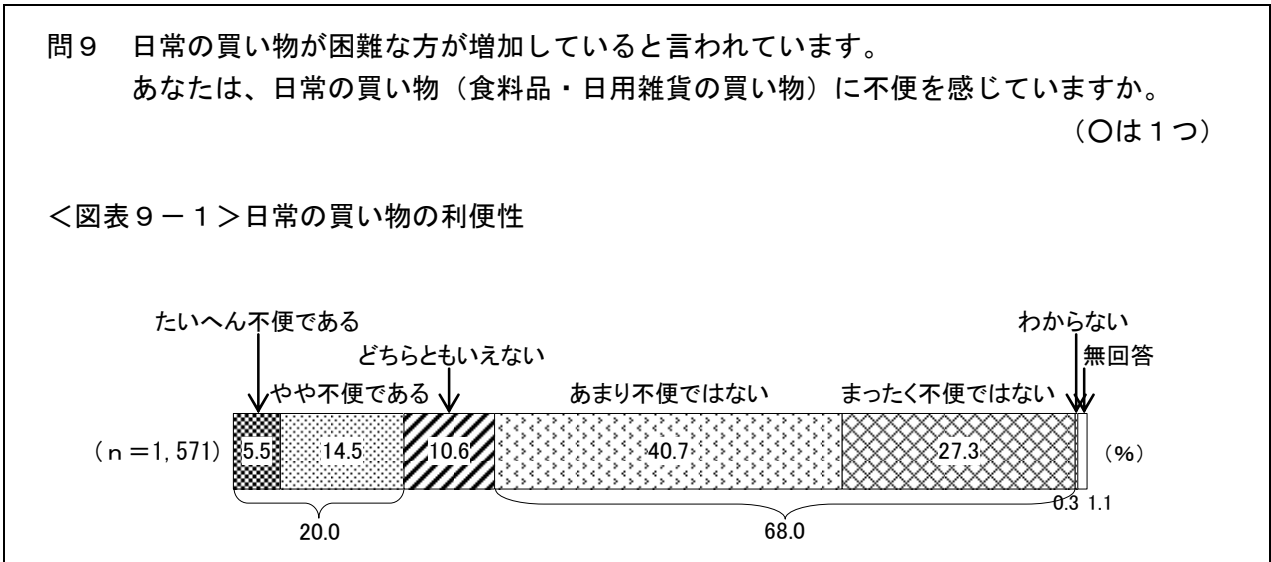


3 【日常の買い物の状況について】

(1) 日常の買い物の利便性

◇『不便ではない』が約7割



日常の買い物の利便性を聞いたところ、「たいへん不便である」(5.5%)と「やや不便である」(14.5%)を合わせた『不便である』(20.0%)は2割となっている。一方、「あまり不便ではない」(40.7%)と「まったく不便ではない」(27.3%)を合わせた『不便ではない』(68.0%)は約7割となっている。
(図表9-1)

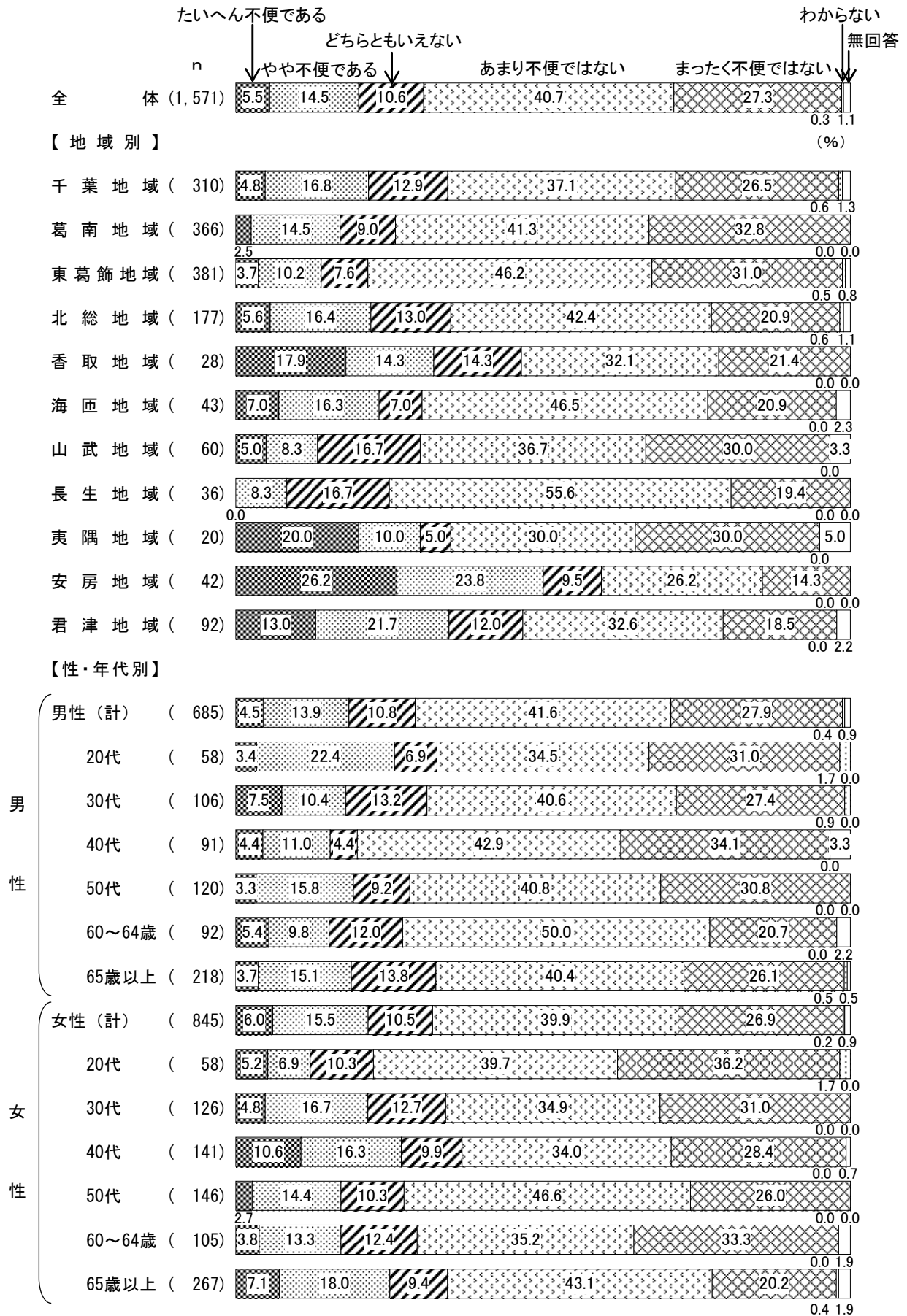
【地域別】

地域別にみると、『不便である』は“安房地域”(50.0%)が5割で他の地域と比べて高くなっている。『不便ではない』は“東葛飾地域”(77.2%)が約8割で他の地域と比べて高くなっている。
(図表9-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『不便である』は男性20代(25.8%)、女性40代(26.9%)、65歳以上(25.1%)が2割台半ばとなっている。『不便ではない』は男性40代(77.0%)が約8割で他の年代と比べて高くなっている。(図表9-2)

<図表9-2> 日常の買い物の利便性／地域別、性・年代別



(1-1) 日常の買い物に不便を感じる理由

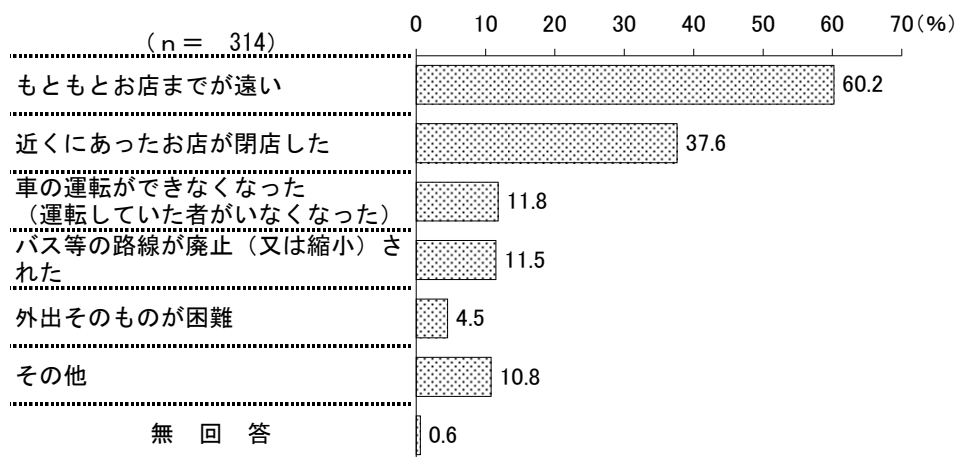
◇「もともとお店までが遠い」が6割

(問9で「1 たいへん不便である」「2 やや不便である」とお答えの方に)

問9-1 あなたが日常の買い物に不便を感じるようになった理由は何ですか。

(○はいくつでも)

<図表9-1-1>日常の買い物に不便を感じる理由



問9で「たいへん不便である」「やや不便である」と回答した人(314人)に日常の買い物に不便を感じる理由を聞いたところ、「もともとお店までが遠い」(60.2%)が6割となっている。以下、「近くにあったお店が閉店した」(37.6%)、「車の運転ができなくなった(運転していた者がいなくなった)」(11.8%)などが続く。(図表9-1-1)

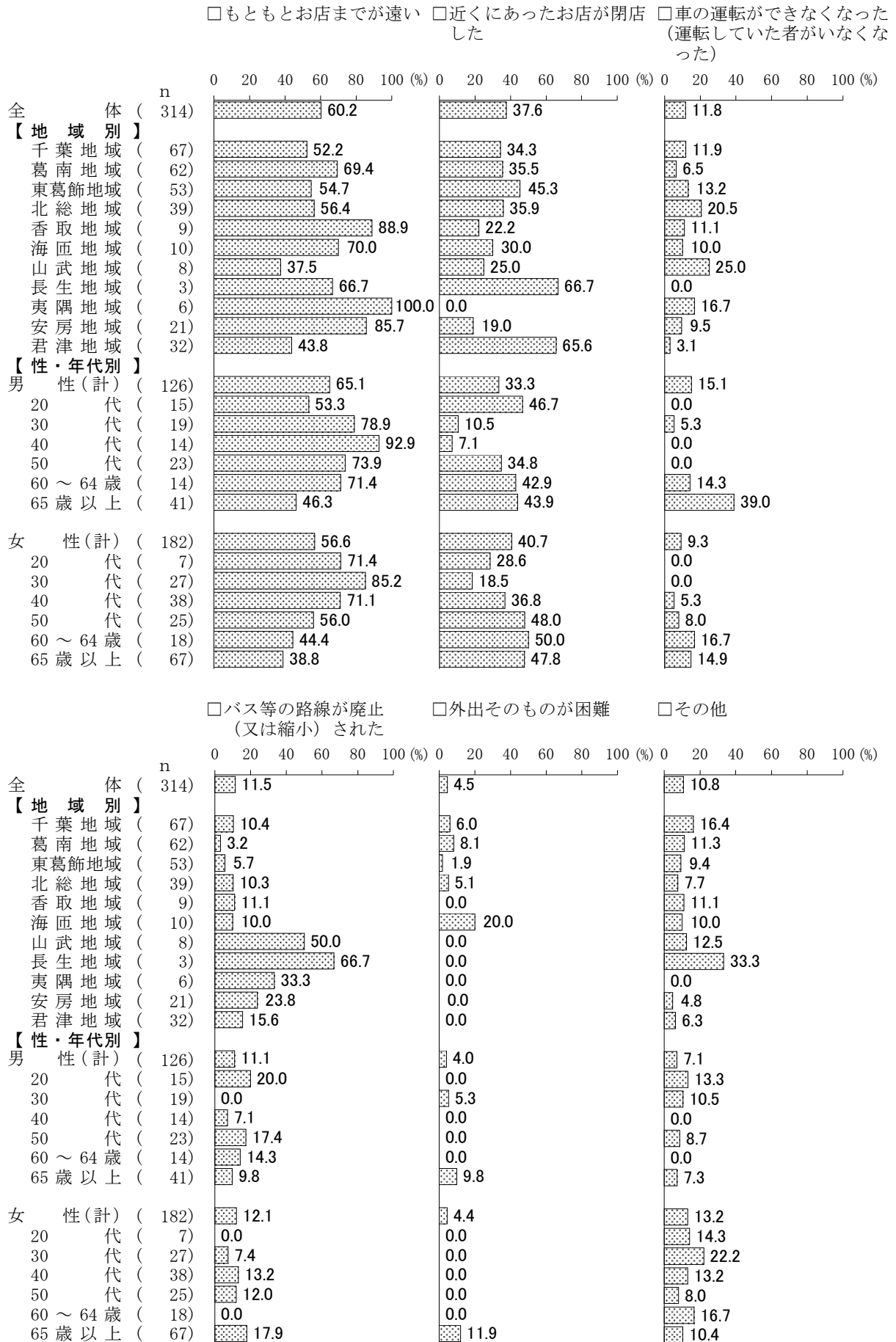
【地域別】

地域別にみると、「もともとお店までが遠い」は“山武地域”(37.5%)と“君津地域”(43.8%)を除いたすべての地域で5割を超えている。(図表9-1-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「もともとお店までが遠い」は男性40代(92.9%)が9割を超え、女性30代(85.2%)で8割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。(図表9-1-2)

<図表9-1-2> 日常の買い物に不便を感じる理由／地域別、性・年代別

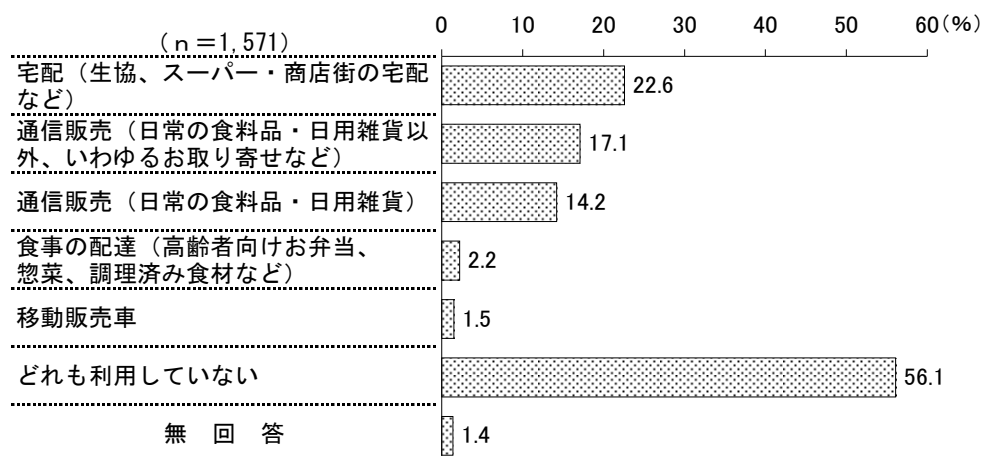


(2) 通信販売・宅配・配達・移動販売の利用状況

◇「宅配（生協、スーパー・商店街の宅配など）」が2割を超える

問10 次の中で、あなたが買い物に利用しているものはありますか。（○はいくつでも）

<図表 10-1> 通信販売・宅配・配達・移動販売の利用状況



通信販売・宅配・配達・移動販売の利用状況を聞いたところ、「宅配（生協、スーパー・商店街の宅配など）」(22.6%) が2割を超えており、以下、「通信販売（日常の食料品・日用雑貨以外、いわゆるお取り寄せなど）」(17.1%)、「通信販売（日常の食料品・日用雑貨）」(14.2%) などが続く。一方、「どれも利用していない」(56.1%) が5割台半ばとなっている。(図表 10-1)

【地域別】

地域別にみると、「宅配（生協、スーパー・商店街の宅配など）」は“海匠地域” (25.6%)、“葛南地域” (25.1%)、“君津地域” (25.0%)、“千葉地域” (24.2%) で2割台半ばとなっている。

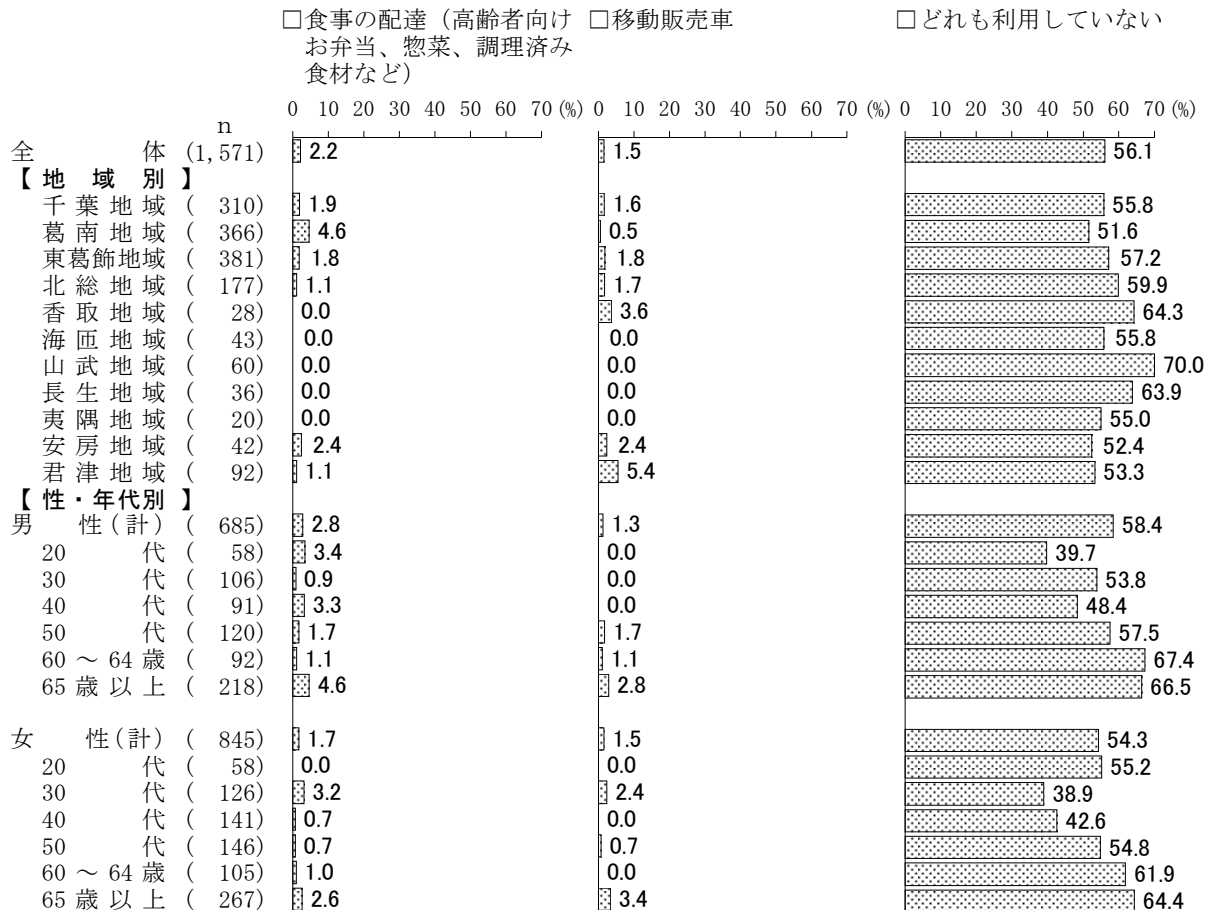
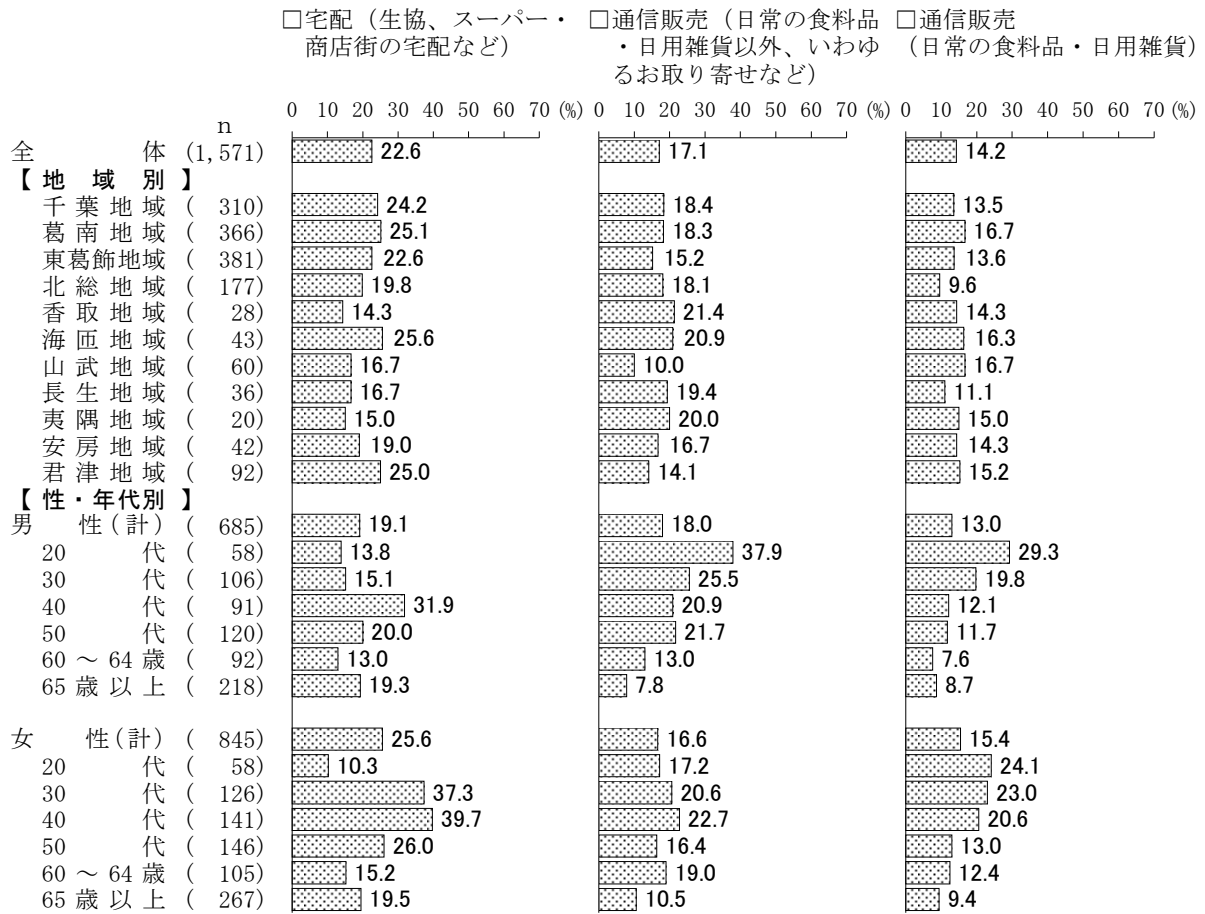
(図表 10-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「宅配（生協、スーパー・商店街の宅配など）」は女性30代 (37.3%)、40代 (39.7%) で約4割と他の年代に比べて高くなっている。「通信販売（日常の食料品・日用雑貨以外、いわゆるお取り寄せなど）」は男性20代 (37.9%) で約4割と他の年代に比べて高くなっている。

(図表 10-2)

<図表 10-2> 通信販売・宅配・配達・移動販売の利用状況／地域別、性・年代別



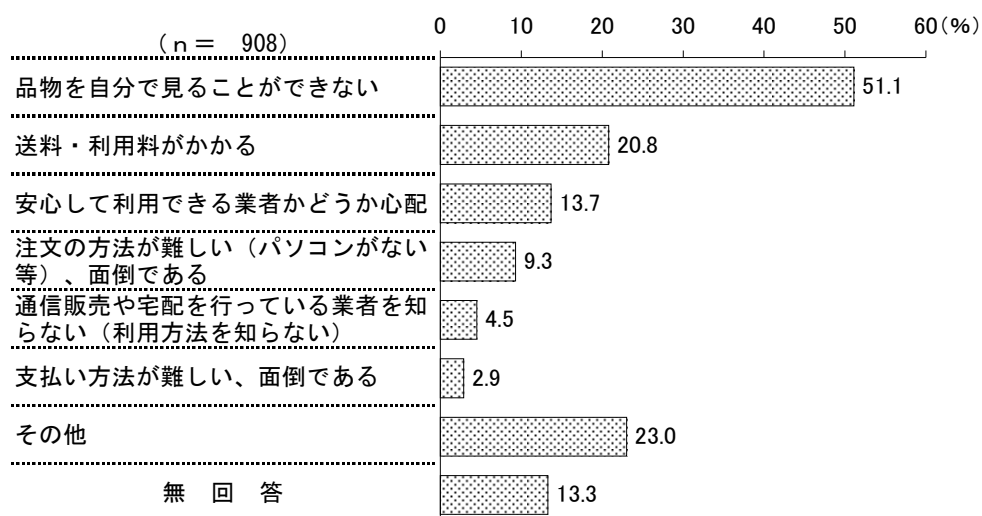
(2-1) 通信販売・宅配を利用しない理由

◇「品物を自分で見るできない」が5割を超える

(問10で「1 通信販売(日常の食料品・日用雑貨)」「2 通信販売(日常の食料品・日用雑貨以外、いわゆるお取り寄せなど)」「3 宅配(生協、スーパー・商店街の宅配など)」のいずれも選択しなかった方に)

問10-1 通信販売や宅配を利用しない方にお聞きします。あなたが、通信販売や宅配を利用しない(できない)理由は何ですか。(〇は2つまで)

<図表 10-1-1>通信販売・宅配を利用しない理由



問10で「通信販売(日常の食料品・日用雑貨)」「通信販売(日常の食料品・日用雑貨以外、いわゆるお取り寄せなど)」「宅配(生協、スーパー・商店街の宅配など)」のいずれも選択しなかった人(908人)に、通信販売・宅配を利用しない理由を聞いたところ、「品物を自分で見るできない」(51.1%)が5割を超えており、以下、「送料・利用料がかかる」(20.8%)、「安心して利用できる業者かどうか心配」(13.7%)などが続く。(図表 10-1-1)

【地域別】

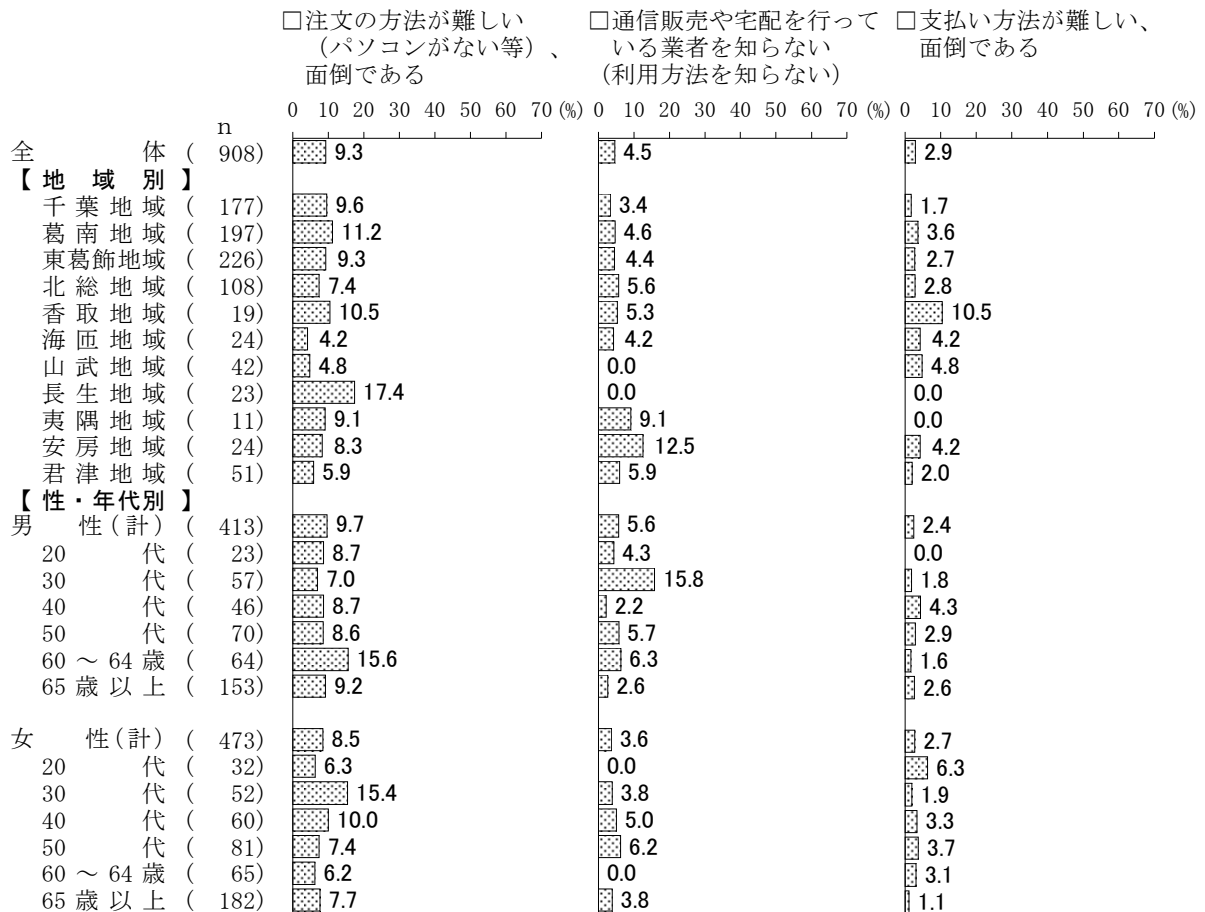
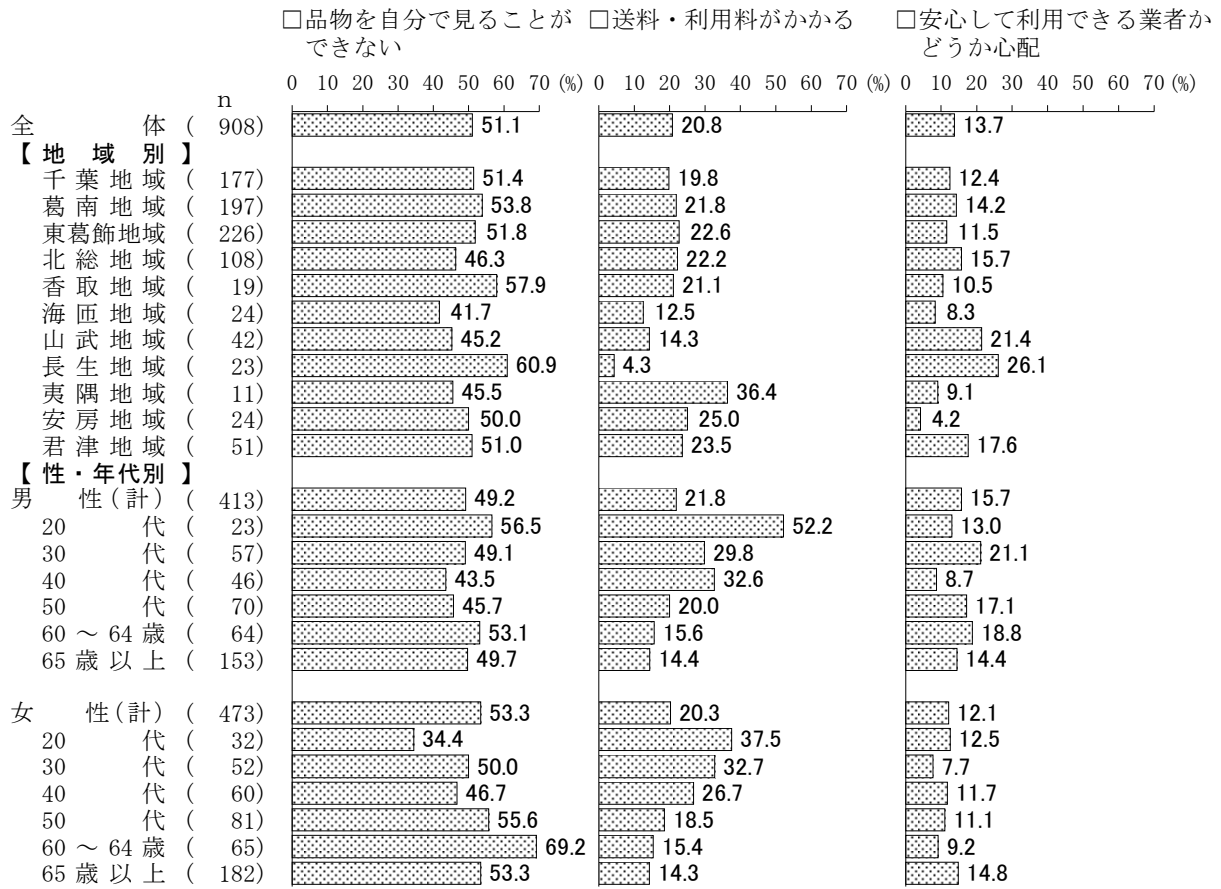
地域別にみると、「品物を自分で見るできない」はすべての地域で4割を超えている。

(図表 10-1-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「品物を自分で見るできない」は女性60~64歳(69.2%)が約7割で他の年代と比べて高くなっている。「送料・利用料がかかる」は男女ともおおむね低い年代ほど割合が高くなる傾向がみられる。(図表10-1-2)

<図表 10-1-2> 通信販売・宅配を利用しない理由／地域別、性・年代別



このほかに、「日常の買い物の状況について」やここまでの質問（問9～問10）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、117人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■ 「日常の買い物の状況について」の自由回答(抜粋)

- 宅配だから安心ということではないが、子供がいるので重い物を運んでくれたりするのが助かる。（女性・30代・北総地域）
- 買い物難民という言葉聞きます。日常で買い物は不可欠なので高齢者の多い地区などには、トラックなどで販売車（食べ物に限らず日用品なども含めて）が行ったら良いと思います。（男性・30代・東葛飾地域）
- 近くにあったスーパーが閉店し、車がないと買い物にも行けない状況です。家族が運転できるので、なんとかこなしていますが、公共のバスも本数が少ない上、料金が高すぎて利用できません。自治会を通じて行政に要望は出していますが、一向に改善されません。ぜひこの問題を解決してほしいものです。（女性・40代・君津地域）
- 自分がほしい物は目で見ないと買わない。返品とかしたくない。（女性・60～64歳・東葛飾地域）
- インターネットでの通信販売は益々便利になり、生協等の宅配と合わせ利用度は上がると思うがスーパーやコンビニも配達サービスに重きを置くようになり、助かるであろうし、配達時に安否の確認も出来る可能性も有り、いい方向と思う。（男性・50代・北総地域）
- ご近所の方を見ていると、バスでやっと買物に行き、買ったは良いが帰りのバスの時間までの潰し方や、買った品物の持ち帰りに困っている方が多い。自治会で一日一回、買物ツアーを組んで、助け合えば良いのですが、まだそこまで自治会の結束や、話し合いが進んでいない。不安です。（女性・65歳以上・君津地域）
- 現在はそれ程不便を感じてない(自動車運転しているので)が将来を考えると不安でならない。町の小さな商店街が復活して欲しい。（男性・65歳以上・千葉地域）
- 通信販売は、品物を見ずに購入、安心して利用できる業者かどうか、個人情報の問題、等不安を感じている人は私を含め数多いと思う。しかし、便利であるという理由から、若い世代で利用する人も多いと感じる。（女性・20代・長生地域）
- 問9-1でも書いたように、スーパーに行かねば物が手に入らず、地域の交流はなくなり、移動には必ず車が必要になっている。もっと個人経営者が経営していけるシステムを求む。（我々が生活の中で実感できるまで）（男性・20代・千葉地域）
- 若い世代や我々の年代はネット利用もできるが、現在の老人の中にはネットもできない方々が多いかと思うので、民間と手を合わせ便宜をはかってほしい。（男性・50代・葛南地域）